D51と鉄道遺産を考えるシンポジウムin新見



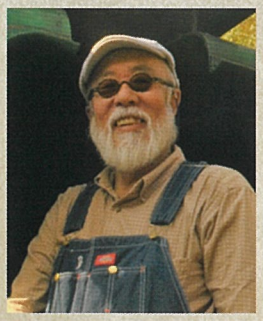
入場無料
（先着200名様に記念品プレゼント）
※申込不要

令和8年
12月6日（日）
13:00～15:30

まなび広場にいみ大ホール
岡山県新見市新見123-2

伯備線を駆け抜けたD51。鉄道で栄えた新見の歴史を振り返り、鉄道遺産として未来へどう残していくか。専門家とともに考えるシンポジウムです。

記念講演



岡山県生まれ、東京育ち。クルマ雑誌、書籍の執筆活動を続ける。鉄道は趣味として楽しみつつ、鉄道趣味人など鉄道関係の著作も多い。2024年発行の「西日本2」では伯備線の蒸気機関車D51・C58を中心に、当時の布原のこと新見機関区のことを多くの写真とともに紹介。またD51に関する知識も豊富で著作に「D51Mikado」・「D51をつくる（ディアゴスティーニ）」がある。

いのうえこーいち氏（日本写真家協会 会員）

同時開催 いのうえこーいち写真展
「蒸気機関車の街 新見」
-新見機関区と布原信号場-

パネルディスカッション



小西伸彦氏
（就実大学特任教授）

岡山県内の国鉄の鉄道遺産を調査し著作に「鉄道遺産を歩く」がある。
D51838の歴史的遺産価値について紹介



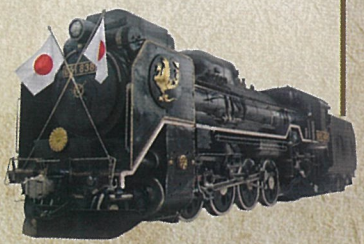
温　啓亨氏
（JR職員/広島大学大学院卒）

卒業論文にて「蒸気機関車の保存をめぐる現状と課題」を執筆。
日本における蒸気機関車静態保存の現状を考察



藤井茂樹氏
（新見美術館館長）

研究テーマの一つに「中山間地域の持続可能な博物館・美術館経営」の研究がある。鉄道遺産の将来に向けた保存展示について、専門家の立場からの提言



主催：D51と鉄道遺産を考える会
後援：新見市・新見市教育委員会・新見商工会議所・阿哲商工会・新見市観光協会・山陽新聞社・備北民報社・吉備ケーブルテレビ・D51838保存会

お問い合わせ　D51と鉄道遺産を考える会事務局：堀江 電話：090-6832-3088